

施策番号	446	施策名	上下水道の整備	主管課名	上下水道課
総合計画 体系	政策名	4	快適な生活環境の里づくり	令和 2 年度課長名	中西 豊久
	関係課名			シート作成者	中西 豊久

1. 施策の対象と意図の指標

① 施策の対象(誰、何が対象か)		③ 対象指標(対象の数・規模)		単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 町民	→	ア	町民人口	人	見込値			12,143	11,970	11,800
						実績値	12,926	12,754	12,625	
イ 水道施設	→	イ	水道施設数	箇所	見込値			1	1	1
						実績値	1	1	1	
ウ 下水道施設	→	ウ	下水道施設数	箇所	見込値			11	11	11
						実績値	12	12	12	
② 施策の意図(対象をどうしたいのか)		④ 成果指標(意図の達成度)		単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 清浄な水を安心して使ってもらう	→	ア	上水道給水原価	円	目標値	258.0	255.0	250.0	350.0	349.0
					実績値	360.6	339.2	308.3		
					達成率	71.5%	75.2%	81.1%	113.5%	113.2%
イ 安価で安定的に供給する	→	イ	断水件数	件	目標値	7	6	5	6	5
					実績値	7	5	5		
					達成率	100.0%	120.0%	100.0%	120.0%	100.0%
ウ 快適で衛生的な生活環境で暮らしてもらう	→	ウ	下水道普及率 (供用人口/行政人口)	%	目標値	85.0	85.0	85.0	93.0	93.5
					実績値	91.0	91.8	92.3		
					達成率	107.1%	108.0%	108.6%	99.2%	98.7%
エ 公共水域の水質汚濁防止	→	エ	水洗化率 (水洗化人口/供用人口)	%	目標値	84.0	84.5	85.0	83.0	83.5
					実績値	81.6	82.2	82.0		
					達成率	97.1%	97.3%	96.5%	98.8%	98.2%
⑤ 成果指標 設定の考え方	ア. 水道事業の安定的な継続性を見るため、水1m3を作るために必要な経費を計上した。 イ. 1年間の水道断水件数を計上(災害、突発事故によるもの) ウ・エ. 下水処理の普及が住民の生活環境の向上、公共水域の水質汚濁防止につながることから計上した。			⑥ 成果指標の 把握方法と 算定式等	ア. 上水道会計の決算時に把握 イ. 上下水道課対応件数 ウ・エ. 毎年度3月31日現在の住民基本台帳、工事施工実績、下水道宅内工事受付実績により把握					

2. 施策の役割分担

	① 住民の役割 (自助・共助・協働でやるべきこと)	② 行政の役割 (町・都道府県・国がやるべきこと)
施策成果向上 に向けた 住民と行政との 役割分担	水道供給、下水処理は住民と町との契約に基づくものであり、使用率の向上が事業継続の為に必要不可欠である。 公共下水道、集落排水施設の未普及地区では合併浄化槽の個人設置を促進しており、生活環境の向上のために積極的に浄化槽整備することが住民の役割である。	水質基準に適合する安全な水を安定的に供給するため、施設の適正な管理や適時の更新、統廃合等によるコスト削減を図りながら、継続的な運営を行っていく。 下水道施設についても同様に、適切な維持管理とコスト削減、整備推進と接続率向上を図りながら継続可能な事業推進を行っていく。

3. 評価結果

1. 施策の成果水準とその背景・要因		
2 年度 の 評価結果	① 成果指標の時系列比較 (成果は向上したか? 低下したか? 要因は?)  経常費用(修繕費及び減価償却費)を削減できたことにより、給水原価を抑えることができた。	<input checked="" type="checkbox"/> 向上した <input type="checkbox"/> ほとんど変わらない <input type="checkbox"/> 低下した
	② 他団体との比較 (近隣市町、県・国の平均と比べて成果水準は高いのか、低いのか、その背景・要因は?)  令和1年度末の水道普及率は95.7%(県内平均99.2%)、下水道普及率は91.8%(県内平均86.9%)であった。 (県HP参照) どちらも県内平均とほぼ同じ数値である。	<input type="checkbox"/> 高い水準 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ同水準 <input type="checkbox"/> 低い水準
	③ 住民の期待水準との比較 (住民の期待よりも高い水準か、低い水準か、どんな意見や要望が寄せられているか?)  下水道事業については、未普及地の早期完成を望まれているが、進捗状況は期待より低い。 水道事業については老朽管及び耐震管の更新事業を計画どおり実施している。 今後は維持管理が中心となるが、水道法に基づく水質基準等を守り、安定した水道事業の経営を図る。	<input type="checkbox"/> 高い水準 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ同水準 <input type="checkbox"/> 低い水準
2. 施策の成果実績に対する 2 年度の取組や目標達成度		
■ 2 年度の主な取組の成果(改革改善した取組、目標の達成度は?)  公営企業法に基づく水道事業会計及び下水道事業会計に移行し、会計の見える化を図ることにより、令和2年4月1日よりそれぞれの料金を値上げした。今後も中長期的な経営戦略を基に、水道事業会計及び下水道事業会計の経営の安定を図っていききたい。 今後鏡野町の人口減少に伴い、上水道・下水道も加入人口が減少し使用料収益の減少が見込まれることから、なお一層の経営管理が強く求められる。		<input type="checkbox"/> 目標値以上 <input checked="" type="checkbox"/> 目標値どおり <input type="checkbox"/> 目標値以下
3. 施策の今後の課題と改革改善の方向 (うまくいかなかった取組や事務事業は? その原因は?)		
下水道施設の維持管理は専門業者に委託できており、通常時・緊急時とも対応できているが、水道施設については未だ直営管理施設も残っていることから、民間への管理委託をさらに進めて行きたい。 上水道事業会計及び下水道事業会計とも、厳しい経営状況の中で「経営戦略」に基づき、今後も維持管理費の節減と使用料の料金改定を検討していく。		